

2022年
4月

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により
厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

●2022年4月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



やや悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

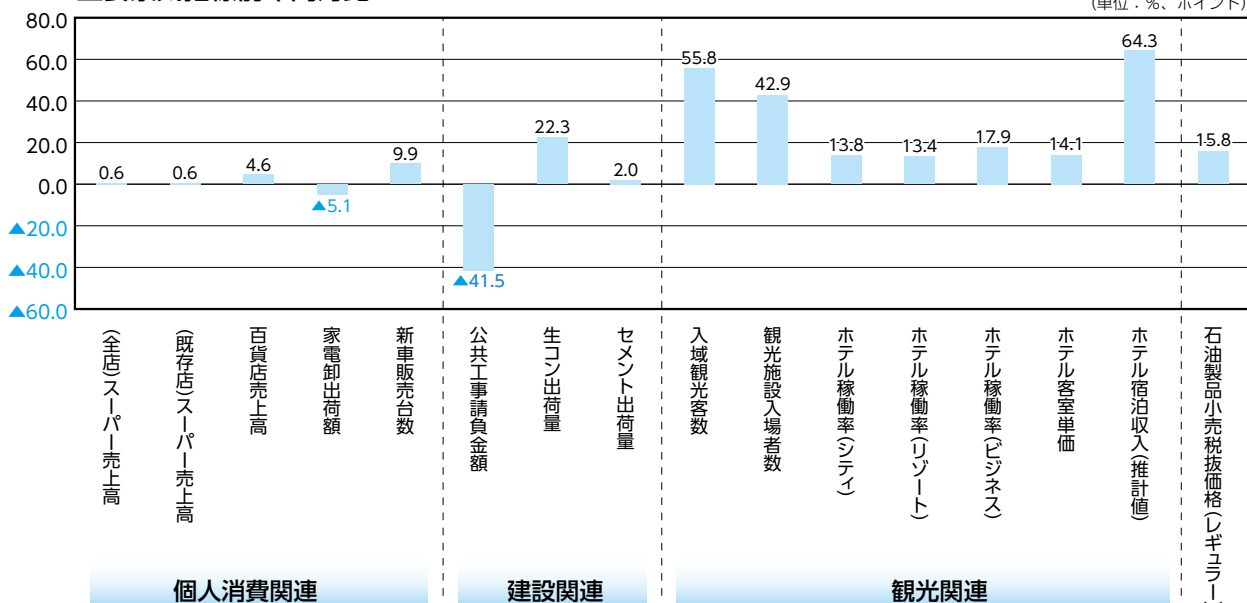
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入（推計値）においても前年同月を上回りました。コロナウイルスの影響により2019年同月比では厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられます。

このような状況に鑑みて、個人消費は、耐久消費財の供給制限などにより弱さがみられるものの、持ち直しの動きがみられ、建設関連は弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい状況が続く中、持ち直しの動きがみられます。よって、「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、持ち直しの動きがみられる**」と景気判断を据え置きました。

(2022年3月の上方修正から2ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位：％、ポイント)





個人消費



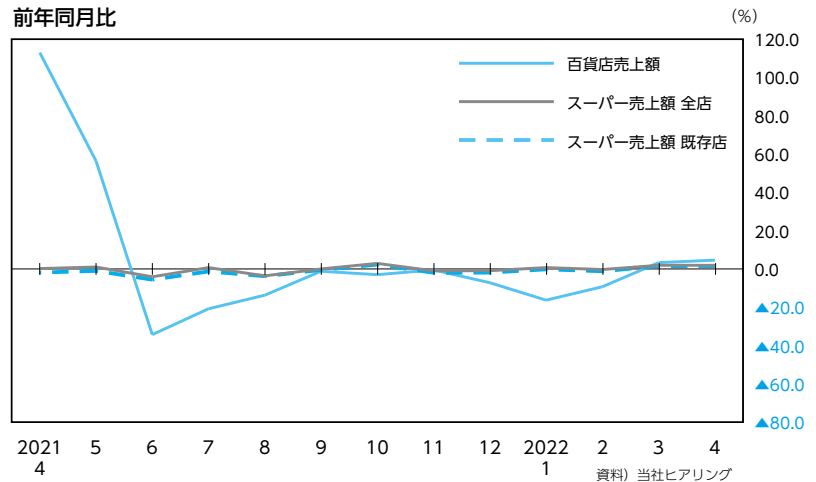
(やや悪い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比0.6%増）」は、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同0.6%増）」は一部価格高騰の影響などから前年同月を上回りました。「衣料品（同5.8%増）」、「家庭用品（同2.0%増）」については、前年同月のまん延防止等重点措置による来客数減少の反動などにより、前年同月を上回りました。

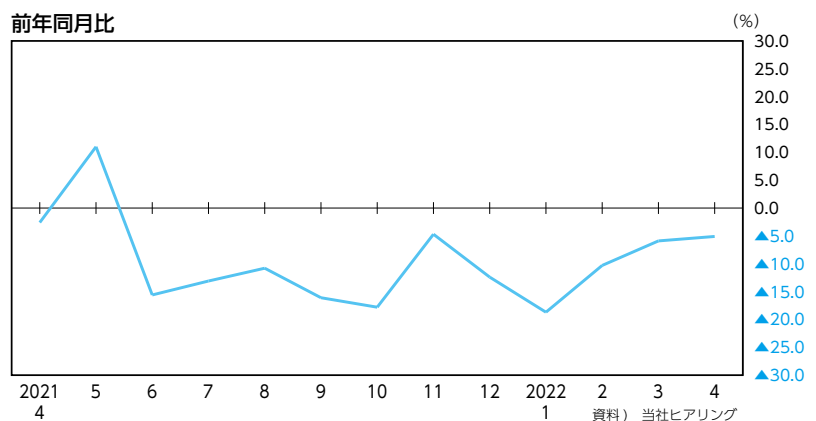
「既存店ベース（同0.6%増）」は、2ヶ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品（同0.4%増）」は、一部商品の価格高騰の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同6.7%増）」、「家庭用品（同0.4%増）」は前年同月に適用されたまん延防止等重点措置の反動などにより、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました（同4.6%増）。内訳をみるとウェイトの高い、「衣料品（同14.4%増）」は、式典用の商品の需要が増加したことなどにより前年同月を上回りました。「身廻品（同12.5%増）」、「家庭用品（同7.7%増）」は、入学関連ギフト商品や異動などによる記念品購入が好調だったことなどにより前年同月を上回りました。「食料品（同1.6%減）」は前年同月に開催された催事が今年は6月開催となった影響などにより前年を下回ったものの、全体としては2ヶ月連続で前年同月を上回りました。



② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は、11ヵ月連続で前年同月を下回りました（同5.1%減）。品目別では、「エアコン（同25.1%増）」は量販店での販売好調などにより、前年同月を上回りました。一方、「テレビ（同25.6%減）」、「洗濯機（同1.9%減）」、「冷蔵庫（同1.6%減）」は新型コロナウイルスの影響に伴う上海のロックダウンにより物流が停滞したことなどから前年同月を下回りました。

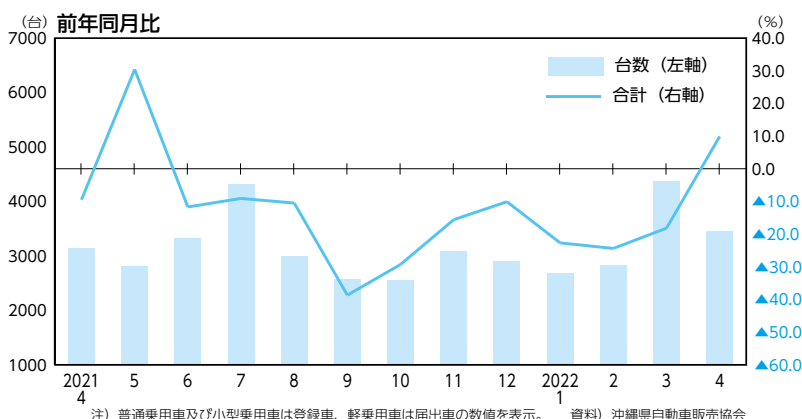


(※今回、データ収集先の変更が発生したため、遡ってデータの修正を行いました。)

③ 新車販売台数…新車販売台数は前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で3,452台(同9.9%増)となり、11ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同3.3%増)」、「小型乗用車(同108.0%増)」は半導体不足による供給制限はあるものの、レンタカー需要の増加などにより前年同月を上回りました。「軽乗用車(同16.3%減)」は、前年の反動などにより、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



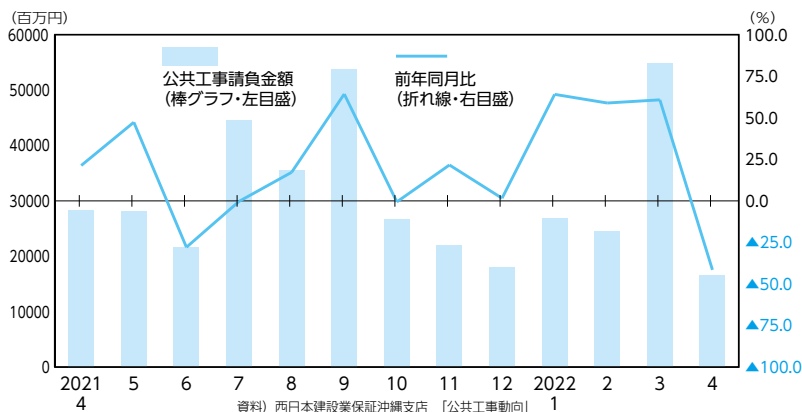
建設関連



(ふつつ)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

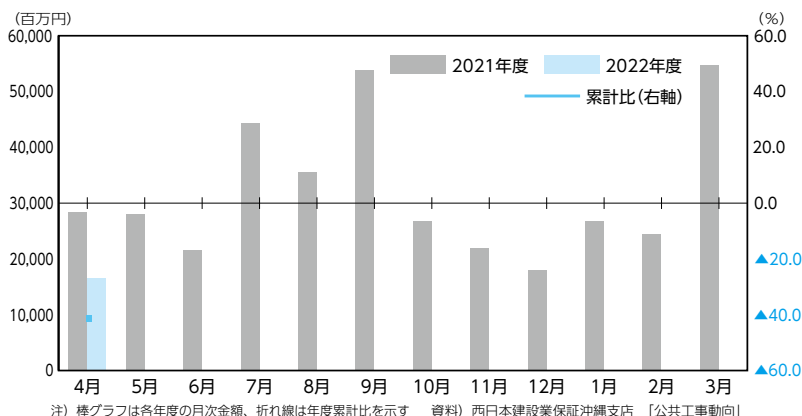
4月の公共工事請負金額は、前年同月比41.5%減の165億9,300万円となりました(6ヵ月ぶりに減)。発注者別でみると、「国(同77.8%減)」、「市町村(同56.5%減)」、「その他の公共的団体(同23.9%減)」、「沖縄県(同14.1%減)」は前年同月を下回りました。一方、独立行政法人等(同12.8%増)は前年同月を上回りました。



【参考】 公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。

今年度累計値では41.5%減となっています。

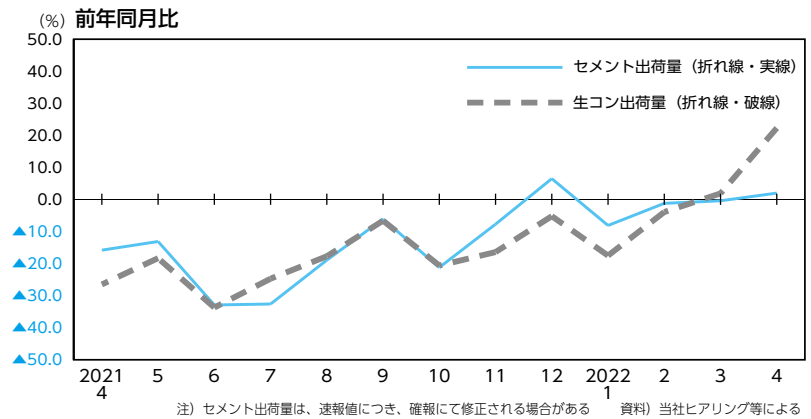
【参考】 **2021年度の公共工事請負金額**は、前年度比24.7%増の3,846億9,800万円となりました。発注者別でみると、「国(同71.8%増)」、「独立行政法人等(同100.9%増)」、「その他の公共的団体(同10.0%増)」、「沖縄県(同1.0%増)」は前年度を上回りました。一方、「市町村(同4.8%減)」は前年度を下回りました。





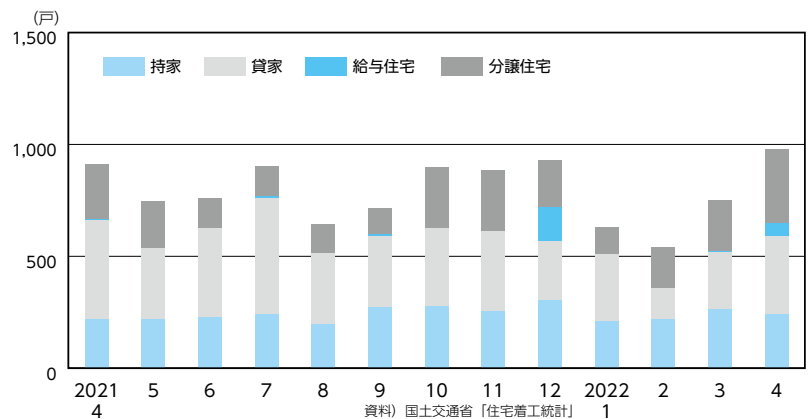
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は22.3%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは、石垣、中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より35.8%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より16.4%上回りました。セメントの出荷量は2.0%増と4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



③ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

4月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比7.3%増の980戸となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅 (同34.7%増)」や「給与住宅 (同785.7%増)」、「持家 (同11.5%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家 (同22.1%減)」は前年同月を下回りました。

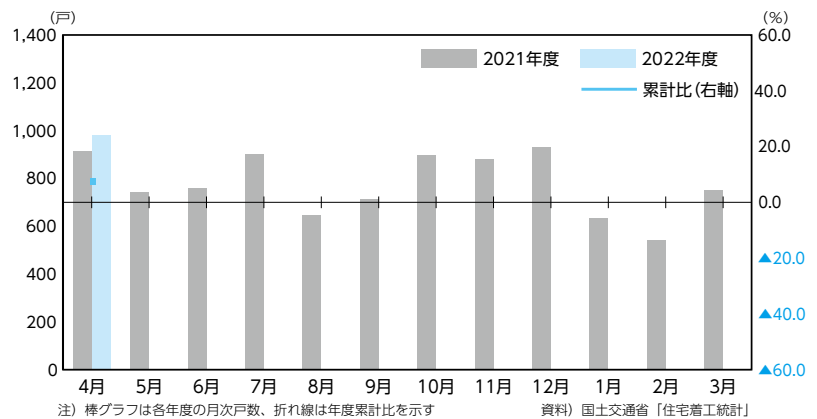


【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

今年度累計値では、7.3%増となっています。

【参考】2021年度の新設住宅着工戸数は、全体で9,315戸となり9.9%減と前年度を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同27.1%減)」のほか、「給与住宅 (同54.5%減)」は前年度を下回りました。一方、「持家 (同24.4%増)」や「分譲住宅 (同5.7%増)」は前年度を上回りました。

【参考】2021年度の新設住宅着工戸数は、全体で9,315戸となり9.9%減と前年度を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同27.1%減)」のほか、「給与住宅 (同54.5%減)」は前年度を下回りました。一方、「持家 (同24.4%増)」や「分譲住宅 (同5.7%増)」は前年度を上回りました。

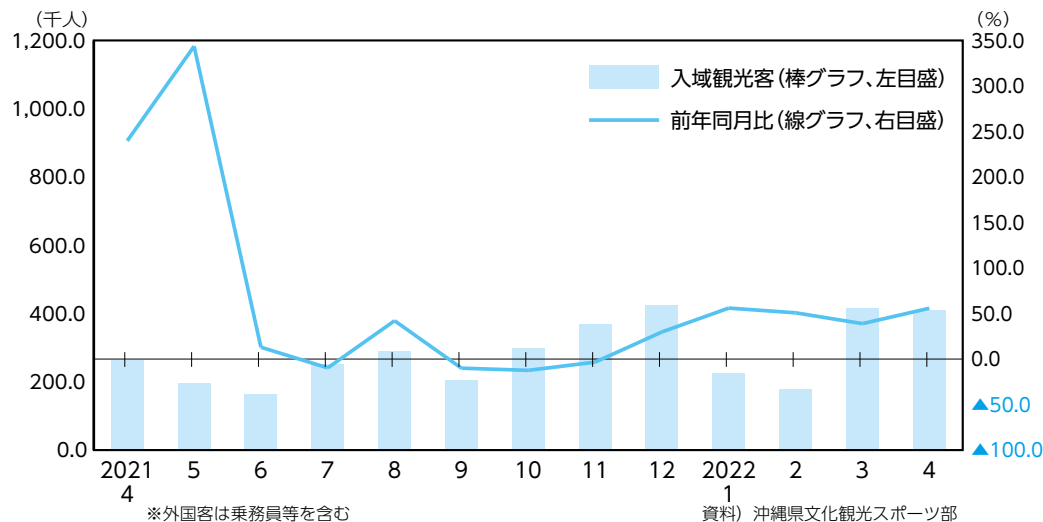


観光関連

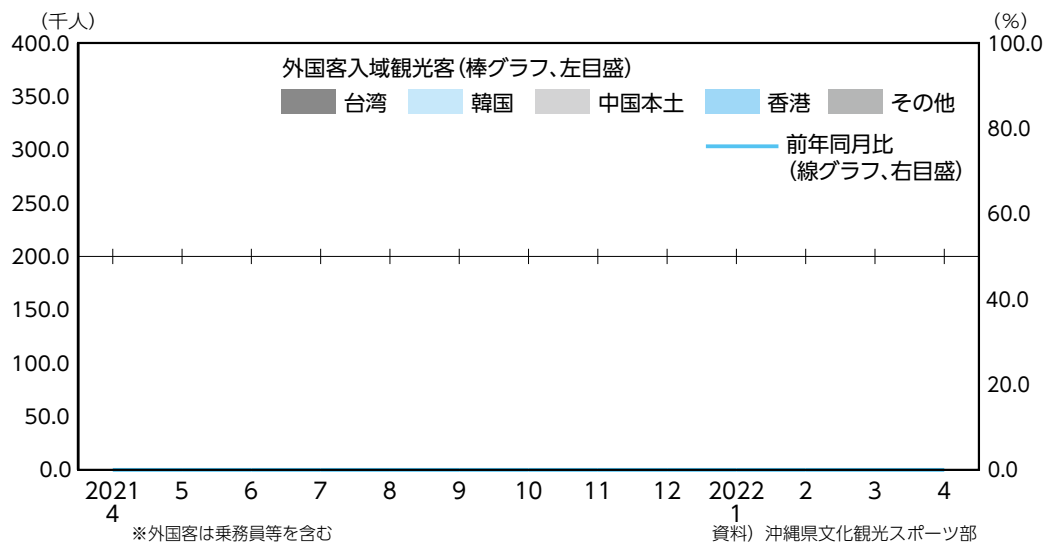


(やや悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



外国客 入域観光客数…前年同月同様、皆減。



4月の入域観光客数は、減便規模の縮小などから146,400人多い409,000人（前年同月比55.8%増）となり、5ヵ月連続で前年同月を上回りました。しかし、2019年同月比では442,400人減少（52.0%減）と大きく下回っており、厳しい状況となっています。

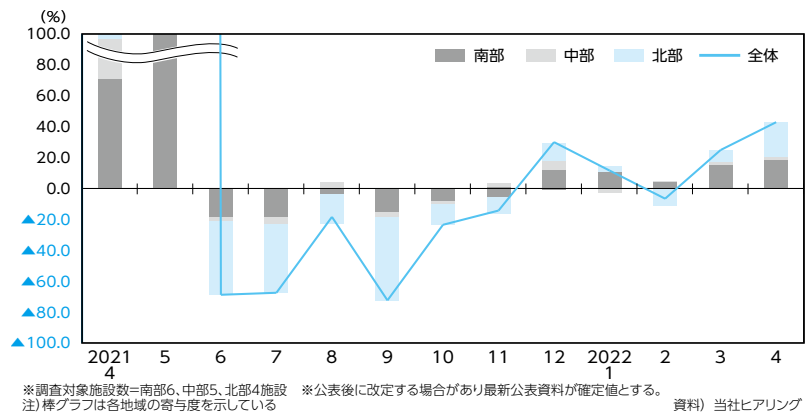
外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。日本への入国制限措置については段階的な緩和が検討されているため、今後の動向を注視する必要があります。



② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

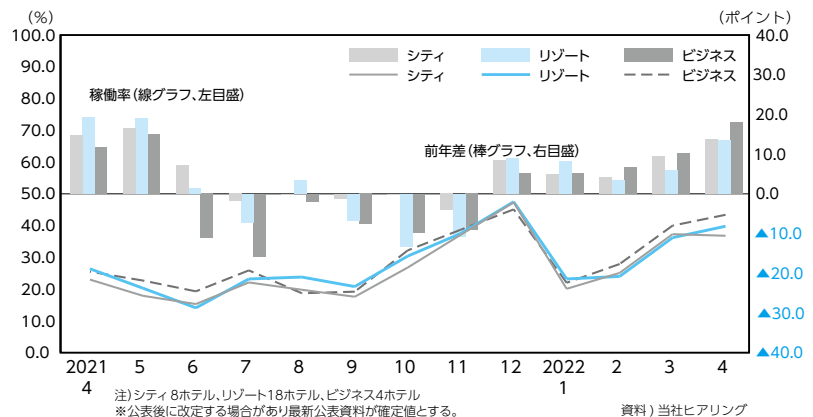
4月の観光施設入場者数は、全体では42.9%増となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は61.4%増、中部は12.2%増、北部は38.9%増となりました。前年同月は4月12日よりまん延防止等重点措置が適用されたのに対し、当月は行動制限がなかったことなどから前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、全体で73.5%の減少となります。内訳では南部の観光施設は78.2%減少、中部は79.7%減少、北部は68.0%の減少となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比13.8ポイント増加、リゾートホテルは13.4ポイント増加、ビジネスホテルは17.9ポイント増加しました。行動制限がなく、旅行マインドも改善された結果前年同月を上回りました。

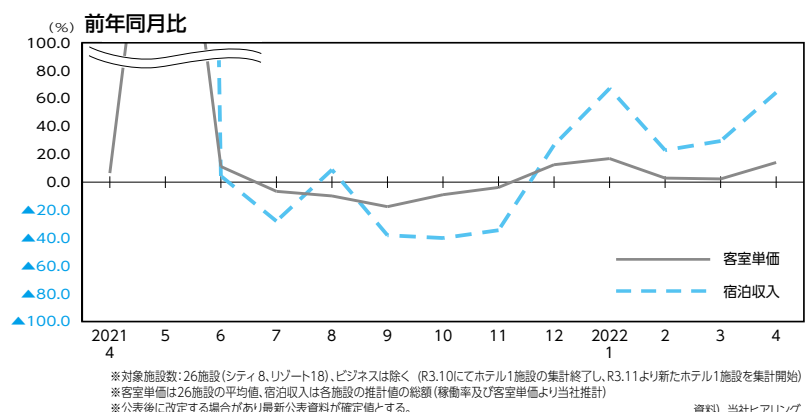


(参考) 2019年同月比では、シティホテルは43.4ポイントの減少、リゾートホテルは41.6ポイントの減少、ビジネスホテルは30.0ポイントの減少となっています。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は14.1%増と5ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入においても64.3%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考) 2019年同月比では、客室単価は10.6%の減少、客室収入は56.6%の減少となっています。





企業倒産

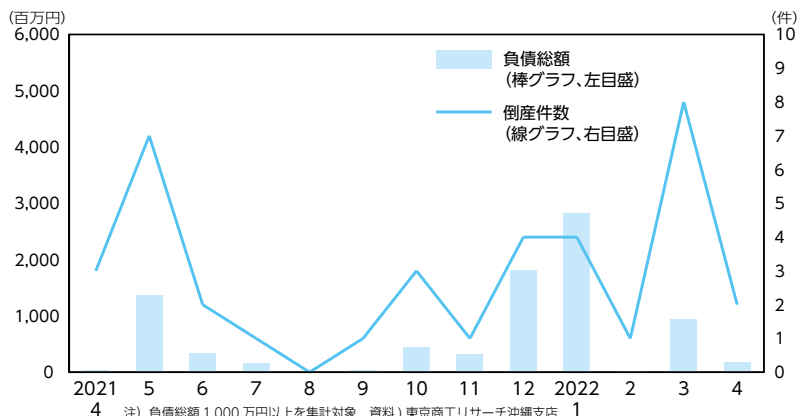


(やや良い)

企業倒産…件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

4月の企業倒産件数は、2件（うち大口倒産は1件）となり、前年同月より33.3%下回りました。

負債総額は1億7,000万円となり、前年同月より359.5%上回りました。



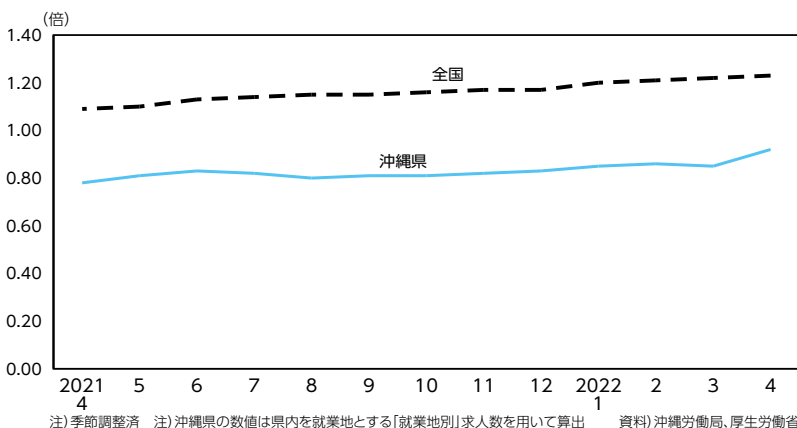
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国ともに上昇。

4月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比7.3%増の29,878人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比0.3%減の32,644人となり、**有効求人倍率(季節調整値)**は0.92倍と、前月より0.07ポイント上昇となりました。



② 完全失業率…沖縄、全国ともに前月より低下。

4月の完全失業率(季節調整値)は、2.9%となり前月より0.3ポイント低下しました。

